

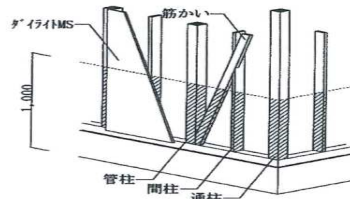
●構造躯体等の劣化対策



①劣化対策等級3

①劣化対策等級3

- ・外壁を通気構造にする。
- ・土台は120角、大引は105角の桧を使用
- ・桧は耐久性区分D1特定樹種で薬剤処理をしなくても良い



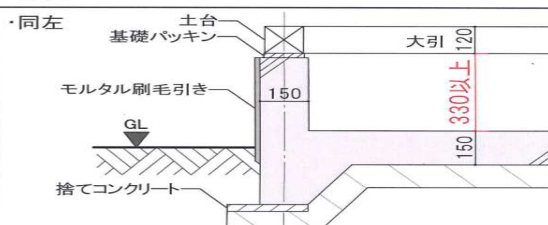
防蟻・防蟻措置図

- ・その他の樹種を使用する部分は上記の図のようにGLより1mは防蟻処理をしなければなりません。(型式にて対応)
- ・また上記以外の劣化対策項目についても型式にて対応済

②床下・小屋裏空間ごとに点検口

③床下空間の有効高さ 330mm以上

・同左



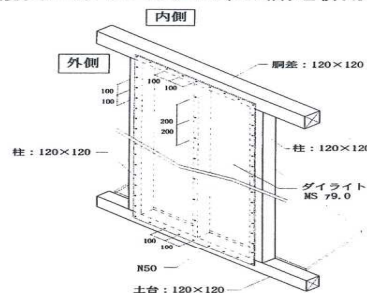
●耐震性



耐震等級(倒壊防止) 2以上

耐震等級(倒壊防止) 3

- ・①在来軸組工法 ②金物工法(準備中)の工法が使用できます。
- ・設計モジュールは910・940・1000から選べます
- ・設計プランは等級3をとるために制限はありますが、制限内であれば、フリープランで型式が使用できます。
- ・耐力壁は筋交いとダイライト9mm(2.5倍)を併用



- ・また床組は根太組工法と剛床工法(根太レス)の選択が可能で様々なプランに対応できるよう型式を取得(1F・2F共)

●可変性

×戸建住宅については適用基準なし

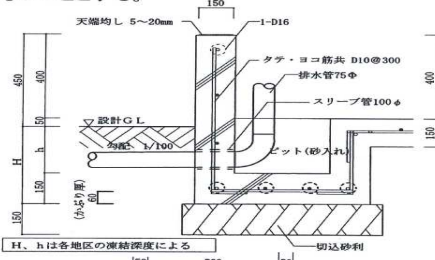
・同左

●維持管理・更新の容易性

維持管理対策等級3

維持管理対策等級3

- ・専用配管は基礎の立ち上がりの貫通部を除き、コンクリート内に埋め込まないこととする。



(例)必要に応じて配管用のピットを設ける

- ・また配管には掃除口または清掃可能なトラップを設ける
- ・設備機器、配管の接合部、バルブおよびヘッダー、掃除口の点検・清掃が容易に行えるよう、床下、天井点検口やパイプスペースを設ける。

●高齢者等対策

×戸建住宅については適用基準なし

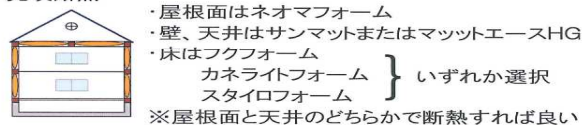
・同左

●省エネルギー性

省エネルギー対策等級3

省エネルギー対策等級3

- ・断熱材の施工法は充填断熱工法と外張断熱工法の選択が可能



- ・外張断熱
 - ・屋根面・壁はネオマフォーム
 - ・天井はサンマットまたはマットエースHG
 - ・床はネオマフォーム
 - ・カネライトフォーム
 - ・スタイロフォーム
 - ・基礎はスタイロフォームまたはカネライトフォーム
 - ※エアサイクル工法で対応可能

- ・サッシは複合樹脂サッシ・複層ガラスを使用(熱貫流率4.07以下)

●住戸面積

75㎡以上

●維持保全計画

維持管理保全計画(30年以上)

- ・型式の申請区分上100㎡~200㎡まで
- ・30年にわたる維持管理計画がわかりやすいようにお施主様に提示します。

